


オープンソースカンファレンス  
2018. Enterprise

**HITACHI**  
Inspire the Next



## OSSの管理方法とツールの選び方

2018/12/14

株式会社 日立ソリューションズ  
プロセスコンサルティング部

渡邊歩

OSSが欠かせない存在となった今・・・



ライセンス違反による  
訴訟・知的財産侵害リスク



OSSの脆弱性を突いた  
ハッキング・情報漏えい



EOL問題  
コミュニティの活性度



リスクに  
対応できていますか？

## OSSリスク対策 = OSS管理



コンプライアンスリスク

ライセンスの誤認識や見逃しに起因するもの  
→「どんなOSSが使われているか」を把握



セキュリティリスク

「脆弱性ゼロ」を求めるのは現実的ではない  
不正アクセスを未然に防ぐ方に注力  
→脆弱性情報・影響範囲の把握と即時の対策

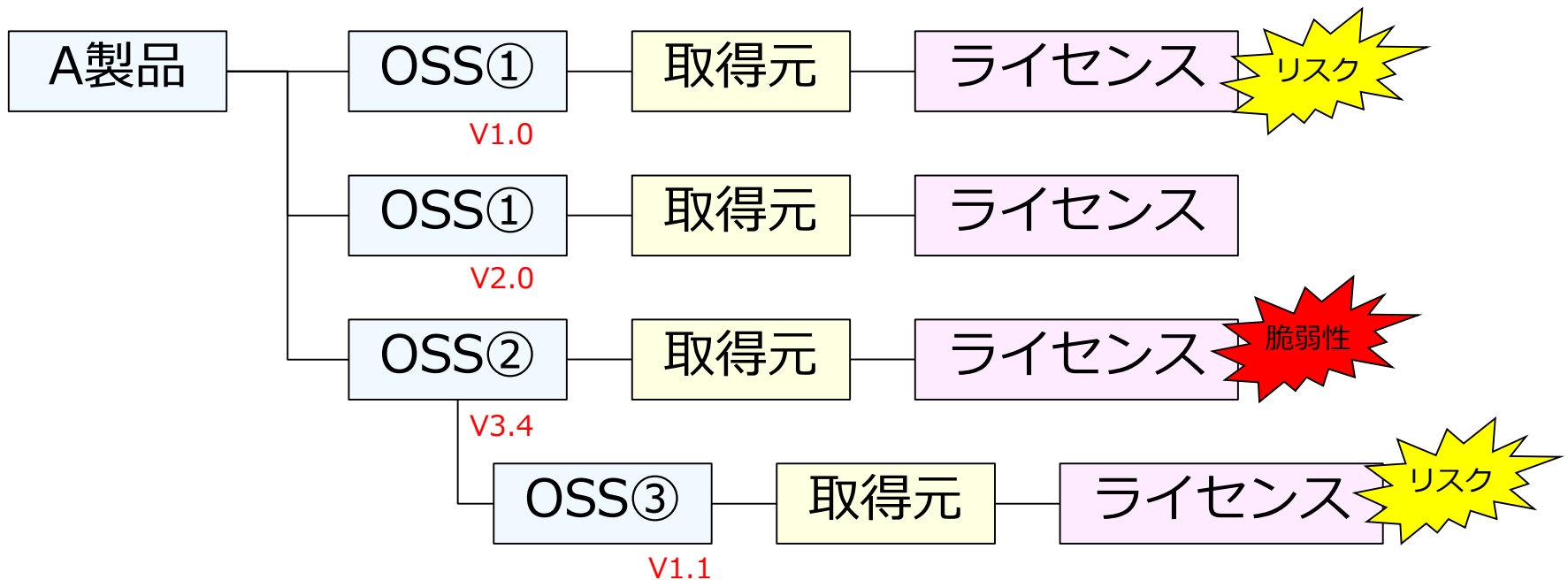


運用上のリスク

利用しているOSSの出所、コミュニティの活性度を監視

## ソフトウェア構成管理

- バージョン管理
- 取得元管理
- ライセンス管理
- 脆弱性管理


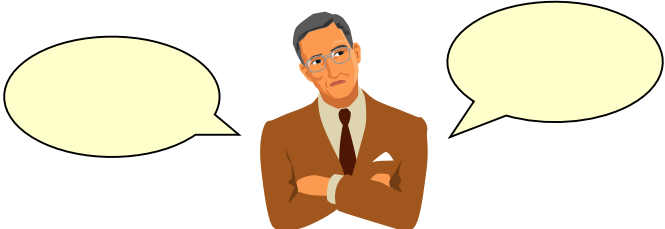




組織

ポリシー

正しい知識

ツール

コミュニティモデル	匠モデル
<p>各部署から代表者を集め仮想的な横断組織を形成する</p> 	<p>経験豊富な有識者が中心となって推進する</p> 
<p>【メリット】 立ち上げしやすく、メンバーを集めやすい</p> <p>【デメリット】 目的が曖昧になりやすい・メンバーのレベルにばらつき</p>	<p>【メリット】 ポリシーは判断基準の統制が効きやすい</p> <p>【デメリット】 暴走しがち・孤独・人材(スキル)不足</p>
専門組織モデル	既存組織モデル
<p>OSS管理をミッションとする専門組織を作成する</p> 	<p>既存組織にOSS管理のタスクを担当させる</p> 
<p>【メリット】 目的が明確で推進しやすい・権限があり、影響力が大きい</p> <p>【デメリット】 人的リソース不足・活動コスト・維持コスト</p>	<p>【メリット】 組織的な意思決定がしやすい</p> <p>【デメリット】 既存タスクとの連携・切り分けが難しい</p>

1. 選定・評価ポリシー
  - 選定時の調査項目
  - 判断ルール・指標など
2. 利用審査・承認ポリシー
  - 審査項目(利用目的、バージョン、取得元、ライセンス、利用形態など)
  - 審査・承認時の判断基準・指標など
3. ライセンスポリシー
  - 利用可とするライセンス群(ホワイトリスト)
  - 利用不可とするライセンス群(ブラックリスト)
4. 利用ポリシー
  - 許可される利用形態(改変OK/NG、スニペット利用OK/NGなど)
5. コミュニティ貢献ポリシー
  - プルリクエスト・パッチ投稿の可否やその方法

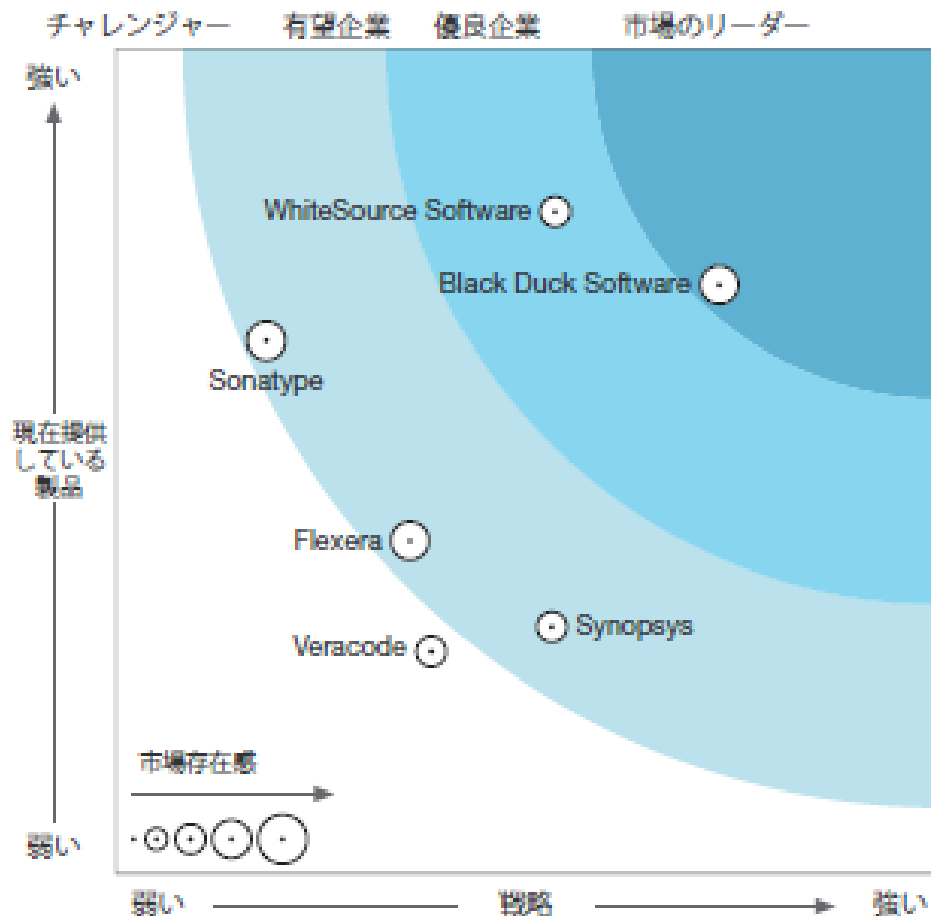
- エンジニア向け教育
- 書籍
- 発注元担当者が理解しているか
- サプライチェーンマネジメント

The logo for OpenChain, featuring three interlocking circles in orange and blue on the left, followed by the word "OPENCHAIN" in a bold, sans-serif font. "OPEN" is in blue and "CHAIN" is in orange.

OPENCHAIN

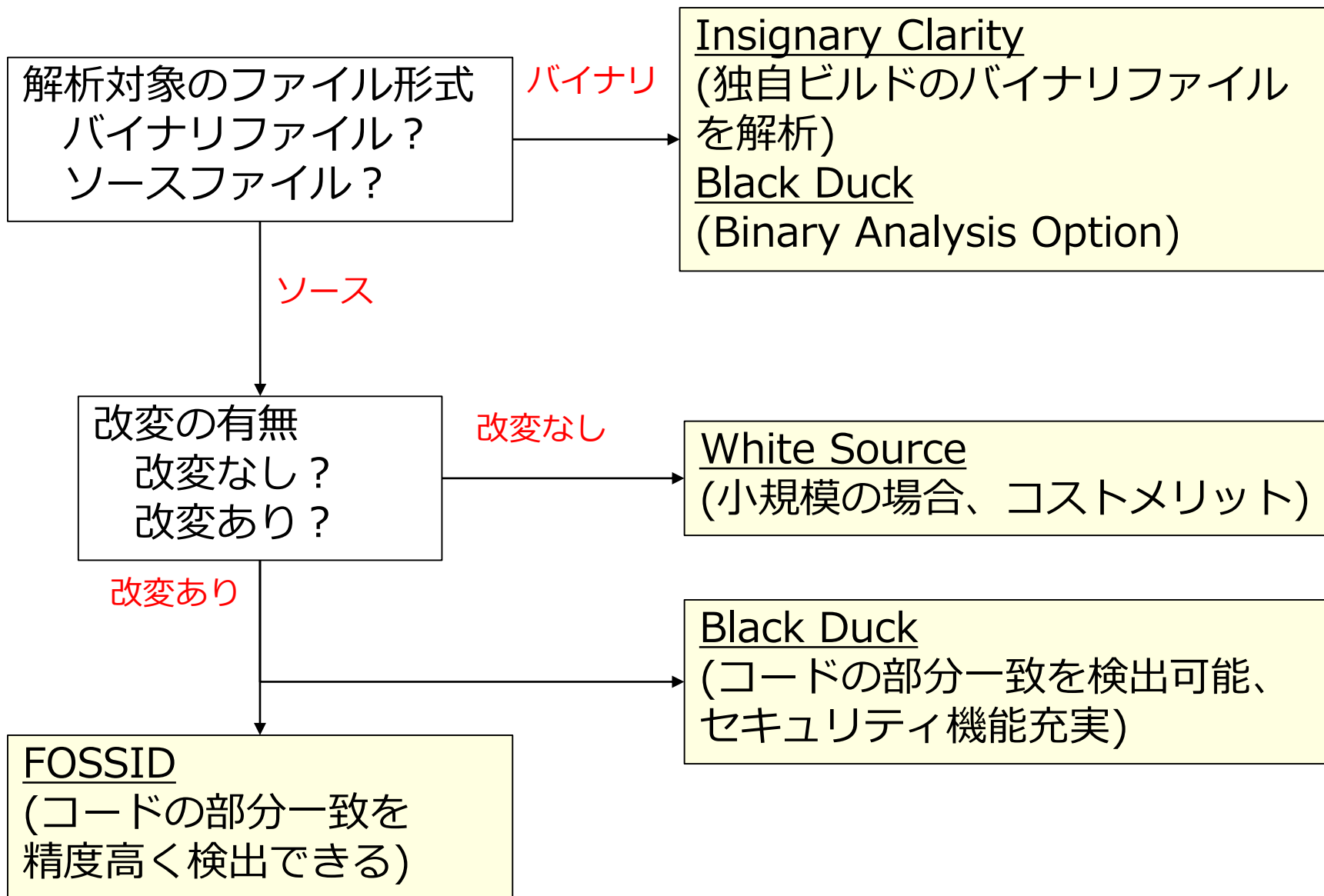


図 2 Forrester Wave™ : ソフトウェア組成分析、2017 年第 1 四半期



- Synopsys Black Duck (HUB/Protex)
- White Source
- Synopsys (Protecode ES/SC)
- Sonatype
- Flexera (Palamida)
- Veracode
- Insignary Clarity
- FOSSology

Forrester Wave™ : ソフトウェア組成分析、2017 年第1 四半期  
プロバイダー 6 社の注目ポイントと市場における位置づけ



- OSS活用に伴うリスク
- リスクを低減するための重要な対策が、OSS管理
- OSS管理に必要なもの
  - ✓ 組織
  - ✓ ポリシー
  - ✓ 正しい知識
  - ✓ ツール
- それぞれのツールの特性を理解し、適材適所で活用する

- Black Duck は、米国 Black Duck Software, Incの米国およびその他の国における商標または登録 商標です。
- 記載の会社名、製品名などは、それぞれの商標もしくは登録商標です。

**END**

